

(款)5総務費 (項)5下水道総務費 (目)15終末処理施設管理費

◎七里ガ浜浄化センターの経費

維持管理費

【 浄化センター 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 流入汚水の処理を継続し、適正な施設機能の維持管理を行うため。

効果 流入してくる汚水を適正に処理すること、および施設機能を維持し延命を図る。

【事業の内容】

(1) 維持管理費

- ・公共下水道終末処理施設の管理運営について、運転管理は民間委託で、水質管理は市職員が行い良好な水質環境の維持を図った。
- ・適正な水質管理を行い、放流水域の環境保全を図った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
387,688	388,188	372,486		15,702

主な支出内訳

・維持管理費

薬品等消耗品費	26,986
特A重油等燃料費	341
光熱水費	77,163
電気使用量 5,171,260kWh	
水道使用量 2,655m ³	
ガス使用量 1,451m ³	
水処理施設機器等修繕料	29,860
電信料	292
電気定期点検等手数料	4,822
水処理施設等運転管理業務委託料	184,678
汚泥処理処分委託料 6,304.13t	30,004
管理棟清掃業務委託料	3,541
脱臭設備保守等委託料	13,311
補修用資材・塗料等原材料費	1,259

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-44 維持管理費 □支援部門								
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	539 終末処理場維持管理事業							
主管課 分野名	七里ガ浜浄化センター(浄化センター)			関連課	下水道課、都市整備総務課				
目標 (目標値)	処理水1m ³ あたりの施設管理コストの低減を図ります。(目標値50円/m ³ 汚水の安定的な処理を継続し、さらにきれいな水質の方流水を目指します。)								
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考				
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日				
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯					
	水洗化人口	70,348人	70,383人	70,434人					
運営資源 状 況	決算値	372,486千円	360,476千円	419,483千円					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	372,486千円	360,476千円	419,483千円					
	人員配置数	2.0人	2.0人	4.0人					
	人 件 費	17,841千円	17,900千円	35,962千円					
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	390,327千円	378,376千円	455,445千円					
	市民1人当 りの経費	2,212円	2,151円	2,602円					
	対象者1人 当りの経費	5,549円	5,376円	6,466円					
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価									
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由				妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
放流水BODの平均値 (基準値15mg/l)	◎	目標値	4.0mg/l	4.0mg/l	4.0mg/l	4.0mg/l	4.0mg/l		
		実績値	3.2mg/l	3.2mg/l					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
汚水1m ³ あたりの処理コ スト(円/m ³)経常経費	◎	目標値	50円/m ³	50円/m ³	50円/m ³	50円/m ³	50円/m ³		
		実績値	47円/m ³	46円/m ³					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
人件費比率 (人件費/事業費)	◎	目標値	7.00%	7.00%	7.00%	7.00%	7.00%		
		実績値	4.73%	4.57%					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)		
処理対象者1人当りのコ スト	◎	目標値	6500円/人	6500円/人	6500円/人	6500円/人	6500円/人		
		実績値	5376円/人	5549円/人					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している									
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)									
団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	鎌倉市	藤沢市	小田原市	逗子市	三浦市	単位
ポンプ場維持管理費	12,349	3,979	1,644	1,132	1,521	585	370	152	百万円/年
日平均流入汚水量	1369.0	484.7	163.9	58.0	137.0	31.7	23.2	3.9	千m ³ /日
処理コスト	25	22	27	53	30	51	44	107	円/m ³
団体名	秦野市	伊勢原市	綾瀬市	大和市					単位
ポンプ場維持管理費	559	556	415	1,298					百万円/年
日平均流入汚水量	31.9	21.5	19.0	69.6					千m ³ /日
処理コスト	48	71	60	51					円/m ³

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 維持管理経費の削減。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 包括的民間委託導入委員会を設立して検討を行った。 七里が浜浄化センターの改築工事で処理効率の良い最新機種の採用により維持管理経費の削減をした。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1)本市に最も適した包括的民間委託方式について検討する。 (2)改築更新まで老朽化した施設の維持管理を行い適正な処理を行う。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) (1)現行の長期継続契約が完了する平成22年度に移行ができるよう検討を続ける。 (2)終末処理場の機械・電気設備の改築更新を補助事業で計画的に実施する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	<ul style="list-style-type: none"> 適正な維持管理を実施し、公共用水域の水質保全を図る。 より効率的な維持管理を実現するために包括的民間委託を導入する。 エネルギー消費を最適化し、環境負荷の削減を目指す。 		
担当課長氏名:	浄化センター所長 原 秀広		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	B	改善の必要性 有
	<ul style="list-style-type: none"> 包括的民間委託を導入し、引き続き適正な維持管理に努める。 		
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋